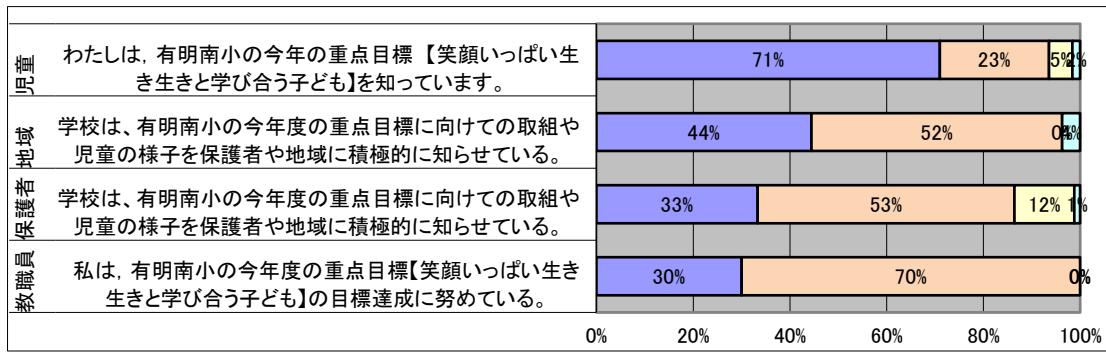


### 1 学校経営方針(本年度の重点目標の周知)



3.6 A

3.4 A

3.2 A

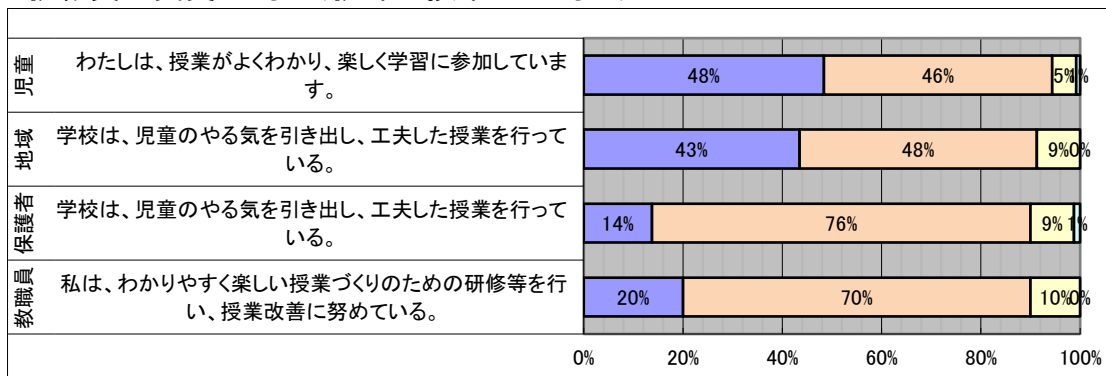
3.3 A

#### (考察及び今後の取り組み)

重点目標は、本年度【笑顔いっぱい生き生きと学び合う子ども】に設定した。全体的に見ると、昨年度と同等の評価となった。特に児童の評価は高かった。それに対して、地域、保護者、教職員の評価が昨年度より低くなった。学校行事を行う際には、目的やねらいを明確にし、児童及び職員が一丸となって学校目標を達成できるよう取り組みたい。また学校便り、学校ホームページやPTA総会、PTA理事会など機会を捉えて具体的に周知していきたい。

平均  
3.4 A  
前年度  
3.4 A

### 2 教職員の資質の向上(教師の授業力の向上)



3.4 A

3.4 A

3.0 B

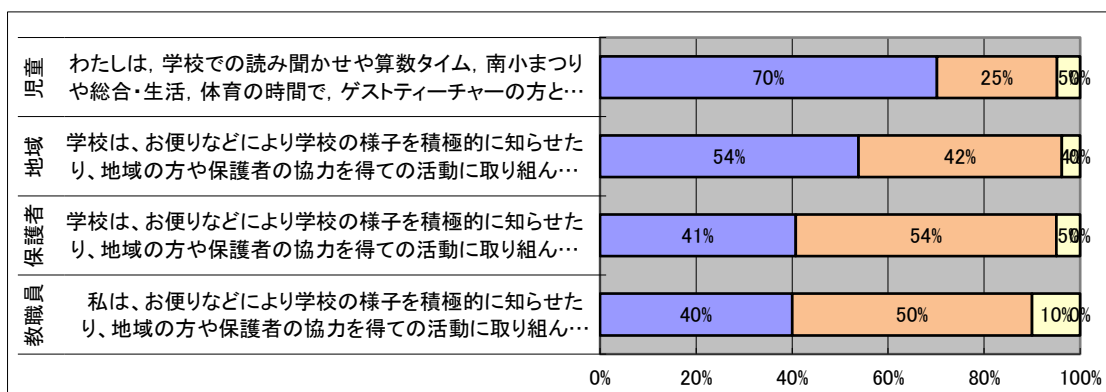
3.1 A

#### (考察及び今後の取り組み)

分かりやすく楽しい授業づくりのために研修や研究授業に積極的に取り組んできた。その結果として、児童の95%近くが、「授業がよくわかり、楽しく学習に参加している」と答えている。しかし、保護者の評価が下がった。教師の授業力向上は次年度の重点課題として取り組みたい。特に、授業中の指示発問、板書の仕方等を工夫し、やる気を引き出す授業づくりに努めたい。

平均  
3.2 B  
前年度  
3.3 A

### 3 学校づくり(保護者・地域への情報発信と連携の強化)



3.7 A

3.5 A

3.4 A

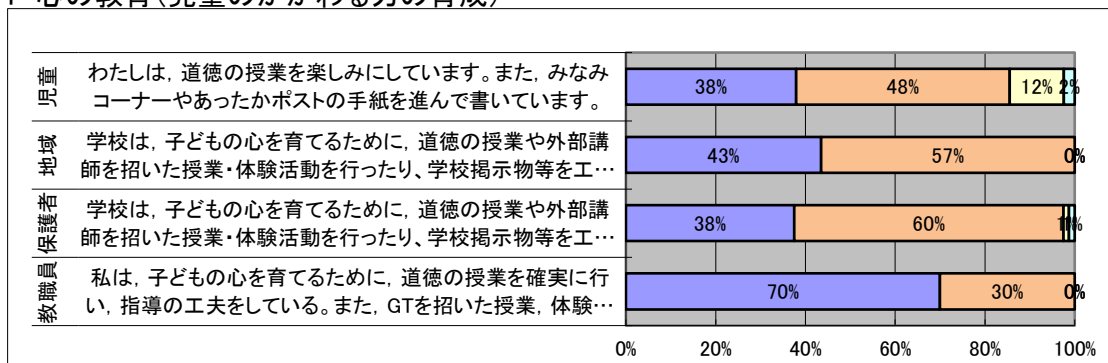
3.3 A

#### (考察及び今後の取り組み)

学校便りや学級通信の定期的な発行、HPの更新により、学校からの情報を積極的に発信することができ、今年度も高い評価であった。また、学校支援ボランティアについても、算数タイムにおける丸つけ先生や伝統芸能の指導、その他、「さくら」(総合的な学習の時間)の時間におけるGTや専門機関、老人会等の協力をいただき、学習・行事の充実を図ることができた。今後も情報発信や連携に継続して取り組んでいきたい。

平均  
3.5 A  
前年度  
3.5 A

#### 4 心の教育(児童のかかわる力の育成)



3.2 B

3.4 A

3.3 A

3.7 A

##### (考察及び今後の取り組み)

道徳の授業や様々な体験活動に取り組んだ。また、各学年で道徳ノートを活用し、授業の内容や、児童の考えや教師のコメントを保護者に見ていただく活動に取り組んでいる。保護者からもコメントを書いていただくなど、児童の心を育てるために連携を図ることができた。しかし、学年によって取組にばらつきがみられ、児童の評価が低い学年もある。学校全体での取組として推進していきたい。

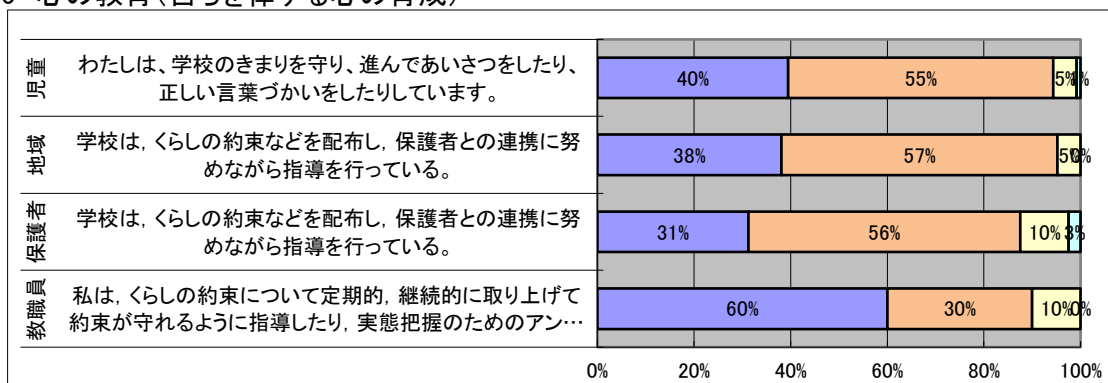
平均

3.4 A

前年度

3.3 A

#### 5 心の教育(自らを律する心の育成)



3.3 A

3.3 A

3.2 B

3.5 A

##### (考察及び今後の取り組み)

「南小のくらしの約束」を配布し、挨拶や服装など随時指導を行い、児童の落ち着いたくらしにつながった。また、くらしのアンケートも定期的実施し、その都度指導に生かすことができた。しかし、保護者の評価が昨年度より若干下がり、教職員との評価のずれも見られた。学校と家庭との児童の見方の違い等も配慮しながら、今後も丁寧に指導したい。また指導についてさらに分かりやすく保護者に啓発していきたい。

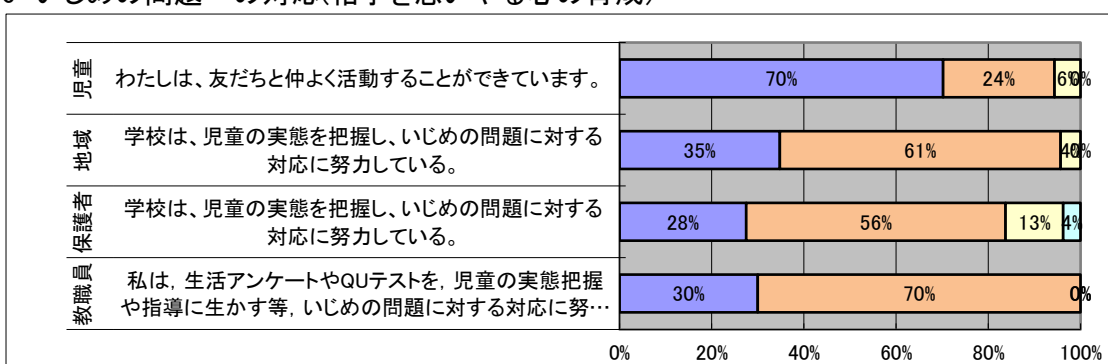
平均

3.3 A

前年度

3.4 A

#### 6 いじめの問題への対応(相手を思いやる心の育成)



3.7 A

3.3 A

3.1 B

3.3 A

##### (考察及び今後の取り組み)

学校生活満足度アンケート(QU)を6月・12月に実施し、その結果を学級づくりや児童一人一人の指導に生かした。また、「いじめ防止対策委員会」において、地域・保護者の方に参加いただき、本校の取組や現状を知らせるとともに、地域・保護者の声を聴き、いじめ防止に取り組んでいる。しかし、保護者の評価が低いので、それらの取組をより分かりやすく伝えるとともに、今後もいじめを絶対許さない学校づくりに努めたい。

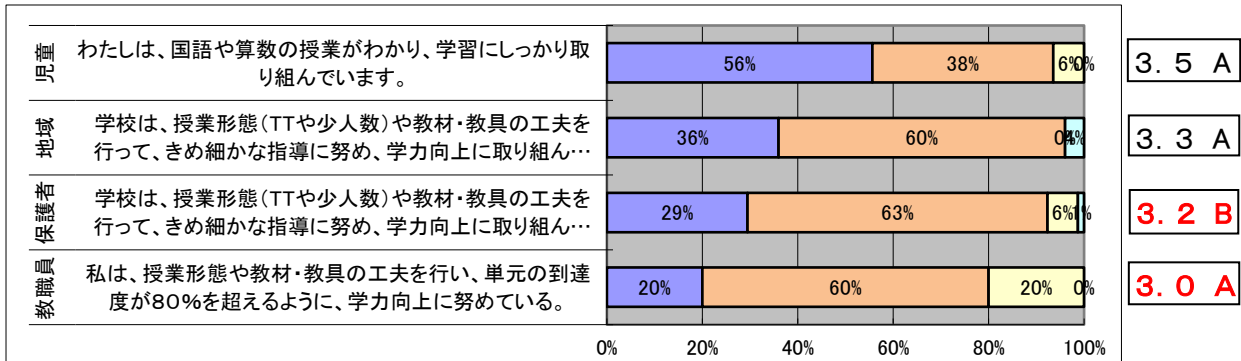
平均

3.3 A

前年度

3.4 A

## 7 学力向上(学ぶ意欲の向上と基礎・基本の定着)



### (考察及び今後の取り組み)

児童の評価は昨年度より上がっている。全国、県学力調査の結果を見ても、県平均より上回り、また昨年度と比較しても若干上がっている。しかし、個々の児童を見ていくと、まだ十分ではない面がある。今後は個に応じた指導や授業形態(TTや少人数)や教材・教具の工夫、効果的なICT活用を行い、子どもたちに分かりやすく、そして学力向上に資する取組を行っていききたい。

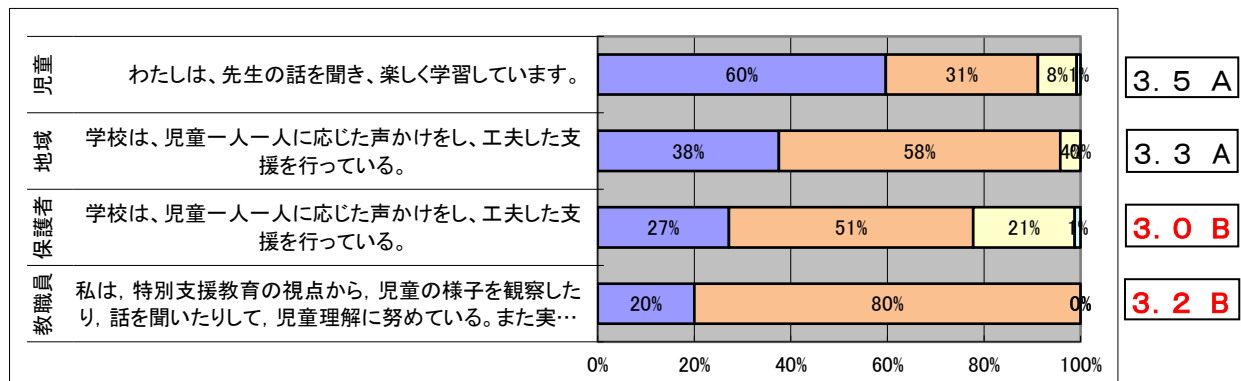
### 平均

3.2 B

前年度

3.3 A

## 8 特別支援教育の充実



### (考察及び今後の取り組み)

子ども支援会議を定期的に関き、全職員で共通理解を図りながら個々の児童の支援にあたることができた。また、学校教育支援員の献身的な児童支援により、児童の困り感も少なくなっている。今後は、普通学級においても、特別支援教育の視点から児童の実態把握に努め、その子に応じた支援を行っていききたい。

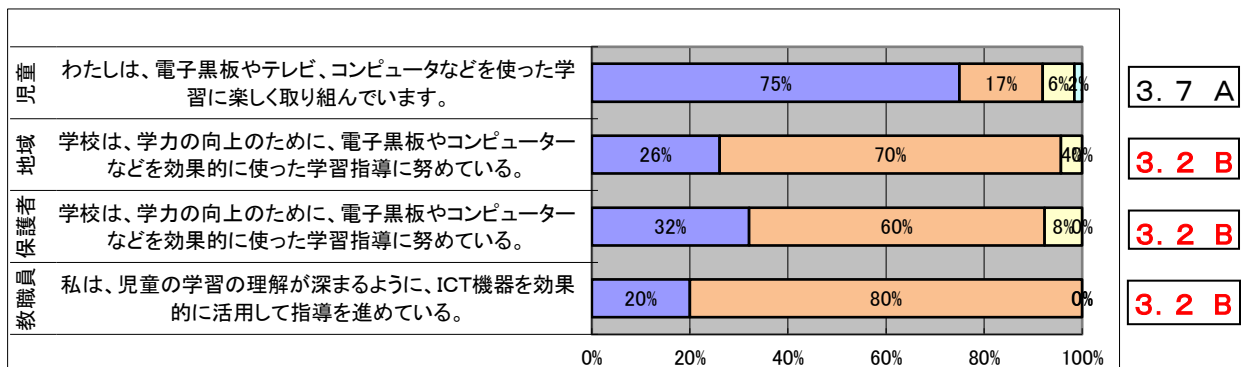
### 平均

3.3 A

前年度

3.3 A

## 9 ICTを活用した授業実践の推進



### (考察及び今後の取り組み)

デジタル教材を授業や算数タイムに活用している。また、全学年でほぼ毎日、デジタル教科書も活用し授業を進めている。そうしたことが児童の高評価につながっていると思われる。その反面、教職員の評価が低い。単なる資料の提示だけでなく、提示した後に考えさせる場面を作ったり、児童の思考が分かるノート等の拡大提示をしたりする等、工夫した活用法に取り組んでいきたい。

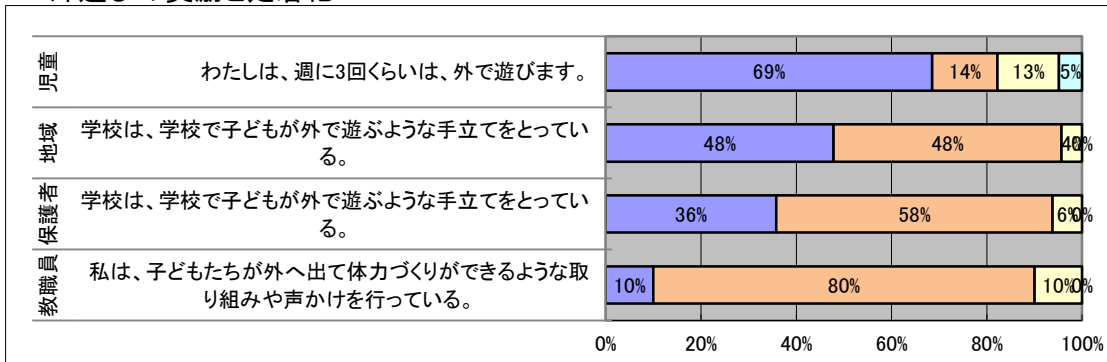
### 平均

3.3 A

前年度

3.4 A

## 10 外遊びの奨励と定着化



3.5 A

3.4 A

3.3 A

3.0 B

(考察及び今後の取り組み)

朝の時間の縦割り遊びでは、1年生から6年生までなかよく遊ぶ姿が見られた。昼休みも、多くの児童が運動場や遊具で元気に遊んでいる。また、外部指導者を招いての「体育教室」を開催し、児童の体力向上に取り組んでいる。外遊びは個人差が大きく、今後も、児童一人一人に応じた声かけが必要である。

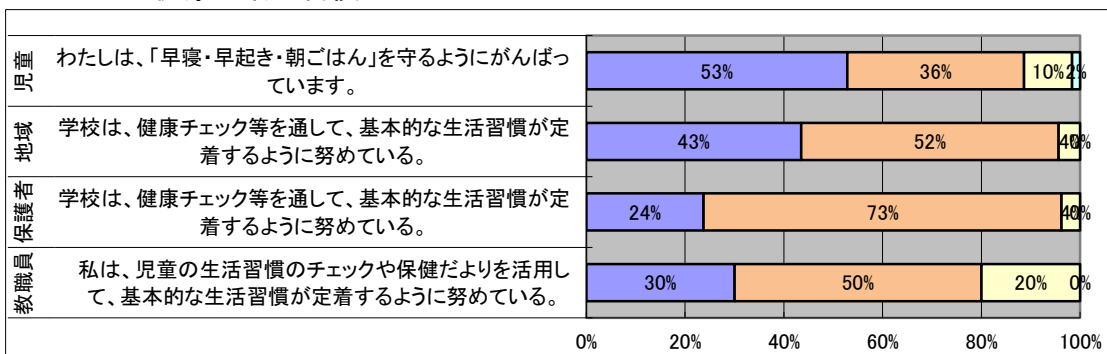
平均

3.3 A

前年度

3.4 A

## 11 望ましい健康生活の習慣化



3.4 A

3.4 A

3.2 B

3.1 B

(考察及び今後の取り組み)

保護者の協力を得た健康チェックにより、全校的な児童の実態を把握することができた。90%近い児童が、「早寝・早起き・朝ごはん」を守るように頑張っている。しかし、10%弱の児童ができていない。今後も、保護者との連携を密に図りながら、望ましい健康生活の習慣化に努めていきたい。

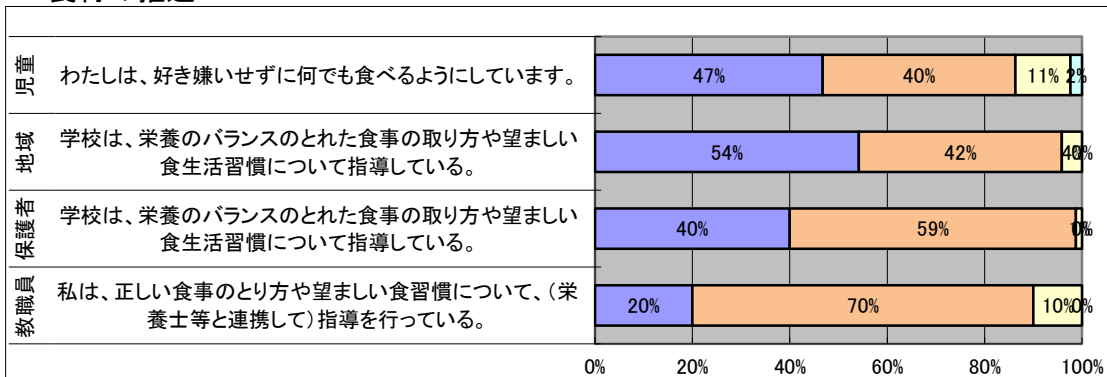
平均

3.3 A

前年度

3.3 A

## 12 食育の推進



3.3 A

3.5 A

3.4 A

3.1 B

(考察及び今後の取り組み)

1年を通して野菜を自分たちの学級園で栽培し収穫することで、食に関する関心を高めることができた。また、1年生親子給食会、4年生親子料理教室、5年生郷土料理教室、6年生はバイキング給食等各学年で様々な取組ができた。また、米作りなど外部からの講師やJA、老人会との連携も図ることができた。今後は、養護教諭、栄養士等と学級担任とが連携して健康と食育のつながりについて指導していきたい。

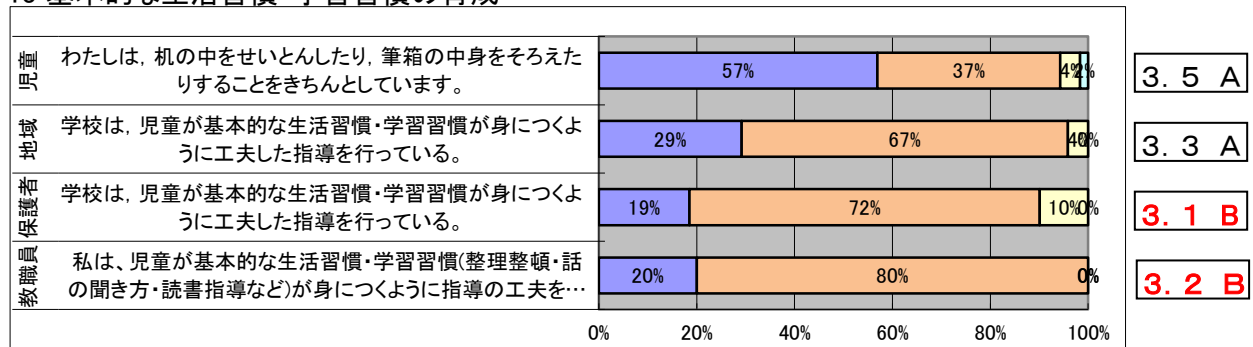
平均

3.3 A

前年度

3.4 A

### 13 基本的な生活習慣・学習習慣の育成



#### (考察及び今後の取り組み)

学期に2回程度持ち物チェックや学校での学習の様子を記録させ、保護者にも知らせることで協力を得ることができた。その結果、どの学年においても、学習に対する構えが身に付いてきている。やや、下学年が不十分である。今後も、基本的な生活習慣・学習習慣の定着に努め、学力の向上を目指さなければならない。

平均

3.3 A

前年度

3.3 A

## 令和2年度の重点取組

### 1. 教職員の授業力の向上

- ・やる気を引き出す発問や指示の出し方
- ・ICTの活用を見直す
- ・基礎基本を定着させる 等

### 2. 特別支援教育の視点を持ち、一人ひとりに応じた教育

- ・児童の困り感を専門的に観察する。
- ・困り感に応じた声かけ、指示を出す 等

自由記述では、保護者の皆様、地域の方々より本校教育活動に対しまして貴重なご意見・ご感想をいただきました。その中には、本校の取組について温かい励ましやお褒めの言葉もたくさんありました。心より感謝申し上げます。保護者の皆様、地域の方々のご理解とご支援のおかげで、学校力の高まりを実感しています。

以下、いただいたご意見です。

#### 【保護者】

- ・これからもいじめや仲間はずれのない楽しい学校であることが一番の願いです。
- ・先生方はいつも保護者の意見をよく聞いて頂いています。
- ・運動会のよさこいについては、はっぴを再度活用していただきたい。
- ・最近、先生方の不十分な対応などよく耳にします。発言には責任をもってほしい。子どもたちが不信感を抱いています。

→貴重なご意見ありがとうございました。児童一人一人を大事にして更に教育実践に取り組んでいきます。

#### 【地域の方】

- ・子どもたちへの教育、良育、いつも感謝しております。学校生活でもほめ、注意等色々な対応が必要かと思いますが、よろしく願います。時には厳しい指導もよろしく願います。
- ・学校HPが更新されていない。保護者以外は見られない。

→今後さらなる更新と、地域の方どなたにもアクセスして頂くような周知の工夫をしていきます。

- ・地域の間が児童の見守りに関する情報を提供しても反応がない、説明がない等配慮がたりない。

→情報を頂いたこと、指導したことを今後周知していきます。今後開かれた学校にするため、さらに努力していきます。

- ・子どもたちの自由な発想力の育成について、子どもだけの時間を。
- ・月1回のお話会で出席しています。児童たちのお話を聞く態度を見ていると、真面目に何事にも取り組んでいることが分かります。先生方のご指導のおかげだと思います。
- ・QUテストの結果を見せてもらいましたが、素晴らしい学級経営がなされていると感じています。地区の行事などにも積極的に参加する姿が見受けられます。
- ・【南小だより】で学校の取組が分かります。いつも届けてもらってありがとうございます。
- ・お話ボランティアで数回来校しています。先生方や子どもたちに温かく迎えてもらって、うれしく思います。元気をもらって帰っています。高学年になるにつれ、感心するくらい落ち着いた対応です。学校での子どもたちの様子を見ていると、先生方の熱心さが分かります。私たち地域や保護者も先生方に負けないよう、子どもたちに愛情を注いでいきたいです。
- ・室島の横断歩道のラインはよかった。桜の木の切りたおし、植樹の予定はよかった。新1年生の下校時の見守りを予定したい。

いただいたアンケートの結果を生かして、さらに充実した教育活動となるよう全職員一丸となって努めてまいります。今後ともご協力・ご支援お願いいたします。